

第 372 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2018 年 3 月 6 日(火) 17 時 30 分～19 時 00 分

場 所: 実習館 2 階研究所 セミナー室

演 者: 荒川 浩久 氏

神奈川歯科大学大学院口腔科学講座 教授

タイトル: 乳幼児から高齢者までのフッ化物臨床応用

私が昭和 52(1977)年に神奈川歯科大学を卒業した頃はう蝕の洪水でした。卒業直後からフッ化物洗口の介入研究に着手し、5年後には絶大な臨床効果を実感できました。しかしながら、昭和 62(1987)年当時の日本のフッ化物配合歯磨剤の市場シェアはわずか 12%でしたし、他のフッ化物応用にしても海外からかなり遅れをとっていました。そこで、日本でもフッ化物応用を普及させたいとい一心で、この道を歩み続けてきました。

今では子どもたちの歯冠部う蝕は減少していますが、日本ではフッ化物の全身応用が行われていないため、乳歯に対する対策が立てにくいのが現状です。さらに、超高齢社会を迎え、多数の歯が残る時代となった今、成人と高齢者のう蝕、とりわけ根面う蝕問題は喫緊の課題でとまっていることから、現在ではその課題にも取り組んでいますし、「フッ化物応用で歯周病も予防も！」という時代に向けた研究も進めています。フッ化物応用は永遠です。これからも歯科界は新しい課題に直面し、それを乗り越えていかなければなりません。

略 歴

1977 年 神奈川歯科大学卒業

2000 年 神奈川歯科大学口腔衛生学教授、大学院指導教授

2001 年 日本口腔衛生学会常任理事(2013 年 5 月まで)

フッ化物応用委員会、歯科衛生士委員会、認定医委員会所属

2001 年 日本歯磨工業会広告審査会委員長

2009 年 厚生労働科学研究「フッ化物応用の総合的研究班」主任研究者(3 年間)

2009 年 ISO/TC106WG4 日本エキスパート(2012 年より同 WG3 追加)

担当:硬組織疾患制御再建学講座 宇田川信之
歯科保存学講座 森 啓